

## 日本光学会第 204 回幹事会

2014年7月25日に、応用物理学会会議室(湯島)において開催されました。将来問題検討委員会による「一般社団法人日本光学会」に関する投票結果についての報告、2014年度第203回幹事会議事録の確認、「光学」関連報告、「Optical Review」関連報告、第39回光学シンポジウム開催報告(2014.6.26-27)、Optics & Photonics Japan 2014進捗報告(2014.11.5-7)、第41回冬期講習会進捗報告(2015.1.22-23)、第48回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告、電気関係学会北陸支部連合大会進捗報告がなされました。また、協賛報告、会員動静、収支計算書、2014年度光みらい奨励金募集の案内と2013年度光みらい奨励金授賞式について、審議および報告がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は「光学」第43巻第12号に掲載予定です。

## 第 41 回冬期講習会「光と生体観察・計測」

光は古くから顕微鏡をはじめ、生体観察や計測のため研究・利用されてきましたが、研究・技術開発の発展とともに、さまざまな観察測定機器が開発され、近年、その計測可能領域が拡大するとともに応用技術の研究も活発になっています。今回は関連分野の著名な講師の方々をお招きして、光を利用した生体観察や計測について基礎から最新の応用技術までをわかりやすく解説していただきます。この分野に興味をお持ちの研究者、技術者、学生の皆様にとって、充実した講習になると考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会 期：2015年1月22日(木)～23日(金)

場 所：東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室  
(〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1) [http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_00\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html)

主 催：一般社団法人日本光学会

共 催：公益社団法人応用物理学会

協 賛：レーザー学会、日本物理学会、日本生体医工学会、日本バイオイメージング学会、日本生物物理学会、日本病理学会、日本オプトメカトロニクス協会、日本細胞生物学会、日本組織細胞化学会

プログラム：〔1月22日(木)〕①「生体医用計測のための光学」岩井俊昭(東京農工大)、②「OCT技術の進展と診断応用」近江雅人(阪大)、③「超小型広視野赤外分光イメージングの基礎と応用」石丸伊知郎(香

川大)、④「生体組織での蛍光イメージングの現状と諸問題」西村吾朗(北大)、⑤「光音響イメージング法の原理、開発動向と性能限界」佐藤俊一(防衛医大)〔1月23日(金)〕⑥「拡散光イメージングと脳機能計測への応用」岡田英史(慶大)、⑦「誘導ラマン顕微鏡による生体組織イメージング」小関泰之(東大)、⑧「テラヘルツ波を用いた生体計測」安井武史(徳島大)、⑨「医療サイドからみた光生体計測」高松哲郎(京都府立医大)、⑩「医療用光ファイバとその応用」松浦祐司(東北大)

申込方法：日本光学会ホームページ内の登録フォームからお申し込みください。

参加費：日本光学会個人会員・応用物理学会個人会員15,000円、日本光学会賛助会員・応用物理学会賛助会員・協賛学協会個人会員20,000円、日本光学会学生会員・応用物理学会学生会員1,000円、非会員25,000円、学生非会員4,000円。銀行振込となります。参加登録後に参加費をお振り込みください。

申込締切：2015年1月8日(金)12:00。定員85名まで受付、先着順。

問合せ(申込)：日本光学会講習会事務局

E-mail [info@myOSJ.or.jp](mailto:info@myOSJ.or.jp)

問合せ(内容)：コニカミノルタ(株) 吉田

E-mail [toukikousyuu41@gmail.com](mailto:toukikousyuu41@gmail.com)

最新情報は日本光学会ホームページの講習会案内をご覧ください。<http://myOSJ.or.jp/>

## 第 17 回光設計賞報告

日本光学会光設計研究グループ企画の「第17回光設計賞」は、審査の結果下記の通り受賞者を決定し、Optics & Photonics Japan 2014にて授賞式および受賞記念講演を行いました。

受賞者：

○光設計大賞 該当者なし

○光設計優秀賞

「25倍ズーム比と高解像度を両立した実体顕微鏡 Perfect Zoom System」三宅範夫氏・中山浩明氏・大内由美子氏・水田正宏氏・品田伸宏氏(ニコン)

○光設計奨励賞

「全天球カメラ「RICOH THETA」光学系の開発」佐藤裕之氏・竹中博一氏(リコー)

○光設計特別賞

「すばる望遠鏡を超広視野化する主焦点補正レンズの開発」 松田融氏 (キヤノン)

審査：審査は書類による1次審査(将来性, 実用性, 独創性に関して採点)の後, 8名の審査委員が1次審査の結果および各委員のコメントを考慮しつつ話し合いにより受賞者を決定しました。応募件数は5件でした。

**第134回微小光学研究会「微小光学とビックデータ」**

日時：2014年12月5日(金) 10:00~17:00

場所：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター (CIC) (〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6)

主催：日本光学会微小光学研究グループ

問合せ先：井藤幹隆 (NTT先端集積デバイス研究所)

電話 046-240-2848 Fax 046-270-2331

E-mail itoh.mikitaka@lab.ntt.co.jp

URL <http://www.comemoc.com/>

**第10回近接場光学に関するアジア太平洋会議 (The 10th Asia-Pacific Conference on Near-Field Optics: APNFO10)**

日時：2015年7月8日~10日

場所：函館市国際水産・海洋総合研究センター(北海道函館市)

問合せ先：慶応大学 齋木敏治

電話 045-566-1784 Fax 045-566-1529

E-mail saiki@elec.keio.ac.jp

URL <http://www.nano-optics-group.org/apnfo10/>

**ご逝去**

ご逝去の訃音に接し, ここに謹んで哀悼の意を表します。

会員番号	氏名	ご所属 (旧所属を含む)
0002027	鎌田 治	東北大学

**日本光学会 news の掲載申込先：**

〒400-8511 甲府市武田4-3-11 山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科 金 蓮花

電話 / Fax 055-220-8448 E-mail [lianhua@yamanashi.ac.jp](mailto:lianhua@yamanashi.ac.jp)

なお, 掲載申込は原則として発行日 (10日) から2か月前の15日まで, 開催日が1~10日の場合は, 開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては, 「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。